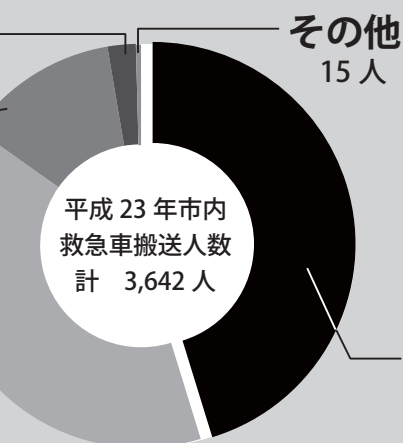


# 大切な命を守るために

近年、全国的に救急車の不適正な利用が問題になっています。

この状況は本当に救急車が必要な人々の命を脅かしています。

9月9日は救急の日。  
救急車の利用法について今一度考えてみませんか。



このような理由の救急車の利用はやめましょう

緊急性のない軽症・病気など

入院・通院のタクシー代わり

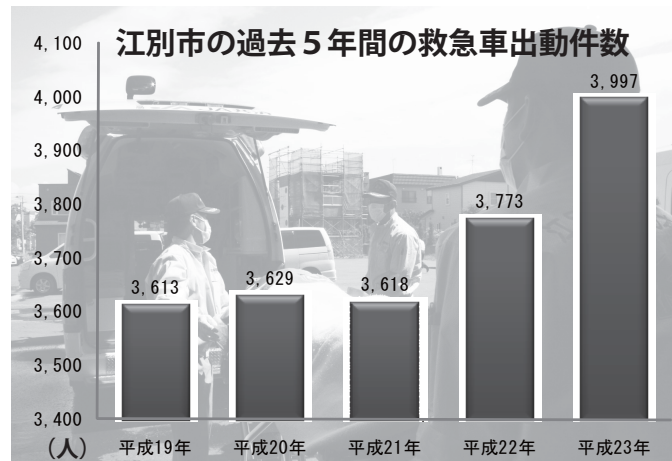
病院を探すのが面倒

病院で優先的に診てもらいたい

## 軽症

1,648 人

(入院を必要としない)



**増え続ける出動数**  
江別市の過去5年間の救急出動件数の推移を見ま



すと、グラフのとおり年間3600件以上となっており、平成23年の出動件数が3997件と最も多く、一日平均11回、ひと月333回出動をしています。ここ数年救急車の出動数が増えている理由として、冬期間の雪による事故および除雪などによる怪我の増加が考えられます。近年、救急車の出動件数が急増している状況は全国的な傾向です。今後も高齢化が進むことを考えれば、この傾向が続いていくと予想されます。

**本当に救急車が必要ですか？**  
なかには本当に救急車が必要であったのかと疑問に思うケースも少なくありません。下記の円グラフを見ますと、平成23年に救急車で搬送された傷病者について、程度別で45%が軽症者になっています。

軽症にみえても重症になることもあり、救急車が必要な場合もあります。しかし、救急車要請の全てが適切に行われているとは言い難いのが現状です。江別市の消防署が所有している救急車は4台。1台出動して帰ってくるまでに、時には数時間を要する場合も

**必要な時は迷わず通報を**

一方、救急車が必要な場合でも我慢して救急車を呼ばないという方もいます。症状によっては命に関わる問題になりかねませんので、救急車が必要かどうか適正な判断をして、救急車を利用しましょう。

**このような場合は迷わず 119 番通報を！**

意識がない・呼吸困難

大量の出血

広範囲のやけど

骨折して歩けない

搬送者数の  
**約45%が  
軽症者です**

死亡  
82人

重症  
455人  
(入院が必要)

中等症  
1,442人  
(入院が必要だが重症ではない)